

ミラー・サポート・センターを併設することにより、子育て支援環境の充実を図っております。



病児・病後児保育施設

子育てに関する必要な情報をいつでも身近に取得することができ、子育て家庭を応援する子育て支援情報ポータルサイトを開設いたします。

放課後児童クラブについては、桜第二児童クラブを増設するなど引き続き、待機児童が出ないよう取り組んでまいります。

多様な子育てニーズに対応し、一人ひとりの育ちを大切にす環境づくりを一層進めてまいります。

高齢者福祉につきましては、増加が見込まれる認知症高齢者対策として、予防教室やふれあいサロンの実施、認知症サポーター養成講座を各地区で開催し、市民の皆さまに認知症の理解を深めていただき、認知症の方も生活しやすい地域づくりを地域包括ケアシステムの構築に向

け、医師や介護・福祉専門職の連携強化や生活支援サービスの充実を図ります。

平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組んでまいります。要支援者などに対して効果的かつ効率的に支援を行うよう、日常生活支援をコーディネートする、ささえあいセンター機能の充実を図り、きめ細かなサービスの提供ができるよう体制を整備いたします。

障がい者支援の充実

障がい者支援につきましては、「障がい者計画及び第4期障がい福祉計画」のもと、地域の中で自立した生活ができるよう積極的に支援してまいります。

聴覚に障がいがある方で、身体障害者手帳の交付対象にならない18歳未満の方を対象に補聴器の購入費などに對する助成制度を開始いたします。

社会保障の充実

国民健康保険事業は、市民の健康、生命を守り、生活を支える重要な役割を果たしております。

しかしながら、国民健康保険事業は独自財源のみでの運営が難しく、不足する財源を一般会計に依存する厳しい財政運営を行っております。

健康増進の推進として、引き続き特定健康診査の必要性について啓発し、受診率の向上を目指し、被保険者の健康の保持・増進を図るとともにレセプト点検やジェネリック医薬品の普及促進などによる医療費の適正化および歳出削減を図り、また国民健康保険税の収納率向上に努め安定的な運営に取り組んでまいります。

るよう、引き続き愛知県後期高齢者医療広域連合および関係区市町村との連携を図り、円滑な事業の運営に努めてまいります。

人が輝き文化が薫るまちづくり

学校教育の充実

教育行政につきましては、新教育委員会制度の施行により総合教育会議を設置し取り組んでおります。

教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定め、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を弥富市教育大綱の目指す姿とし、明日の弥富を担う人材育成と特色ある文化のまちづくりを重点的に推進してまいります。

平和教育推進事業の一環として、中学2年生の広島派遣を引き続き実施してまいります。

弥富市いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止と早期発見する体制づくりを確立するとともに、関係機関との連携の強化を図り迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

学校施設につきましては、弥富北中学校のランチルーム天井改修工事を進めるとともに、津波・高潮緊急時避難場所の整備のため、大藤小学校の校舎屋上防水工事および避難用防護柵設置工事のための設計を進めてまいります。

災害時の児童の安全確保を図るため、救命胴衣(ライフジャケット)を大藤小学校・栄南小学校・十四山東部小学校・十四山西部小学校へ配備してまいります。このほか、学校トイレの洋式化の改修をはじめ、給食施設や給食機器の改修、学校設備の改修を進め教育環境の向上に努めてまいります。

商業の振興

市内中小企業の経営維持・安定化に向け、小規模企業等振興資金の保証料補助を行い、引き続き支援してまいります。

消費者対策の充実

消費者対策の取り組みにつきましては、インターネット商取引の普及や消費者ニーズに対応した商品サービスの多様化により、消費生活に関する様々な問題が発生しています。

今後、消費生活の多様化が進む中で、消費者の安全と安心を確保するために、県などと連携しながら、これからも消費者教育・啓発や情報提供の強化、消費生活相談体制の一層の充実に取り組んでまいります。

共にいっしょに育ちましたまちづくり

コミュニティの育成

地域における身近な防犯対策や子育て、高齢者の見守りや自主的な防災活動や、避難支援活動など、共に支え合い、助け合いながら地域の課題を自ら解決していく「地域力」として、コミュニティ機能を高めることは重要であり、協働のまちづくりにも繋がっていくものでもあります。

自立した自治体経営の推進

行政改革につきましては、極めて厳しい財政状況の中、限られた財源と人的資源で、多様化・高度化する市民ニーズに対応するためには、さらにもっと効率的な行政運営を目指す必要があると考えます。

の見直しを、聖域を設けることなく、今後も継続して行っております。経済の高度成長や人口の増加に合わせて整備した公共施設などが、建設から相当年数経過し、大規模改修や更新が必要な時期を迎えつつあります。このため、将来の財政負担を軽減し、次世代に良質な資産を引き継ぐための基本的な方向性の指針となる公共施設等総合管理計画に基づいて、総合的かつ計画的な管理を推進し、持続可能な行政運営の実現を目指してまいります。

新庁舎の建設につきましては、現在の本庁舎での業務を5月に十四山支所、図書館および総合社会教育センターへ移転させていただき、庁舎建設に早期着手できるように努めてまいります。皆さまには、ご不便、ご面倒をおかけいたしますが、何卒ご理解をお願い申し上げます。

平成28年度の予算規模は、一般会計は、145億3,000万円、前年度比1.1%増、特別会計は6会計合わせ100億172万3千円、前年度比3.8%増で、一般会計、特別会計の総額は、245億3,172万3千円、前年度比2.2%増となりました。

本市の財政状況は、景気の緩やかな回復による市税収入などの増加はあるものの、今後、社会保障関連経費の増大、老朽化している公共施設の改修・更新など多額の費用負担が見込まれます。

一方、平成28年度から普通交付税の合併算定の特例措置が段階的に縮減されてまいります。

財政健全化に向けた対策を引き続き講じ、将来に向け持続可能で、かつ、新しい魅力と活力に満ちたまちづくりに取り組んでまいります。



十四山中学校屋上への避難訓練

豊かで活力に満ちたまちづくり

農水産業の振興

本市の重要な産業である農業につ



利用者でにぎわう総合型地域スポーツクラブ

施設整備につつましては、老朽化した施設を優先的に整備を行い健全な維持管理に努めてまいります。

市制10周年記念事業の一環として、市民の皆さま、誰もが参加していただける、スポーツ大会や文化講演会を開催してまいります。

スポーツの振興

多様なスポーツニーズに対応できるスポーツ環境の充実や施設の有効利用を推進し、健康の維持・増進と市民相互の交流、スポーツ推進委員の協力のもと総合型地域スポーツクラブの運営を支援し、積極的にニユースポーツの普及に努め、生涯スポーツ社会の実現に努めてまいります。

啓発活動を行うことや、地域の青少年健全育成活動関係者や学校職員が参加して巡回活動などを実施いたします。

観光・レクリエーションの振興

観光・レクリエーションの振興として、地場産業である金魚、三ツ又池公園における芝桜を観光資源の中心として活用し、市の観光推進を図ってまいります。

4月には、桜の「春まつり」をはじめ、「芝桜まつり」、「藤まつり」を「三花まつり」として開催してまいります。11月には「あいち花フェスタ2016」を本市で開催いたします。

花に親しんでいただく県民参加型のイベントとして県内地域ごとで開催されているものであり、愛知県、海部地域市町村、JAなどの共同で開催し、海部地域が持つ観光資源、特産物のPRや魅力などを広く伝える機会になればと思います。

同時に、「弥富の金魚」の魅力を多くの皆さまに知ってもらおう絶好の機会ととらえ、「やとみ金魚サミット」を市制10周年記念事業として同時開催し、イベントを一層盛り上げてまいります。

市のキャラクターである「ぎんちゃん」が誕生から20年を迎えます。この「ぎんちゃん」の成人式イベントをはじめ各種イベントなどにおいて弥富市を内外に広くPRしてまいります。

工業の振興

企業立地推進につつましては、企業立地指定企業交付奨励金制度による優遇や、港湾地域における工場立地法の緑地面積率などの規制緩和の特例措置などにより、市内に新たに立地する企業を支援してまいります。